



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 日本精密株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7771 URL <http://www.nihon-s.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡林 博
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)田崎 政己 TEL (048)225 - 5311
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,133	17.8	12		30		32	
22年3月期第1四半期	961	24.2	36		40		48	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	2 11	
22年3月期第1四半期	3 86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	2,511	1,044	41.0	67 62
22年3月期	2,505	1,077	42.4	69 77

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,029百万円 22年3月期 1,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		0 00		0 00	0 00
23年3月期					
23年3月期(予想)		0 00		0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	2,461	23.7	46		25		25		1 65	
通期	5,162	23.1	162		115		114		7 55	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	15,423,999株	22年3月期	15,423,999株
23年3月期1Q	201,749株	22年3月期	201,749株
23年3月期1Q	15,423,999株	22年3月期1Q	12,443,474株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了してありません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第1四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間(以下、当第1四半期という)における我が国経済は、中国や新興国向けの輸出の増加から一部では景気回復の兆しが見られたものの、依然として厳しい雇用情勢、円高の進行、ギリシャ危機に端を発した欧州金融市場の混乱により、先行きの不透明感が増しております。

このような状況下、当社グループは経営目標達成に向け売上の増加と利益の増大に注力してまいりました。その結果、当第1四半期の業績は、連結売上高は1,133,319千円(前年同四半期は961,772千円)、売上総利益は286,537千円(前年同四半期は254,596千円)、営業損失は12,716千円(前年同四半期は営業損失36,058千円)、経常損失は30,404千円(前年同四半期は経常損失40,207千円)、四半期純損失は32,144千円(前年同四半期は四半期純損失48,090千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(時計バンド事業)

時計バンド事業の売上高は652,032千円となり、前年同四半期比97,451千円増加しました。このうち、スイスの高級時計メーカーへの売上は、ヨーロッパの景気低迷に伴う著しい減少があり95,320千円の減少となりました。一方、国内大手メーカーからは、同社の事業拡大にともなう増産と当社グループの総合力を評価されたことによる香港支店とNISSEY VIETNAM CO.,LTD.における受注増加があり、197,417千円の増加となりました。

しかし、スイスの高級時計メーカーへの売上減少による影響が大きく、セグメント損失は10,866千円となりました。

(メガネフレーム事業)

メガネフレーム事業の売上高は399,783千円となり、前年同四半期比87,358千円増加しました。このうち、(株)村井は、大手チェーン店向のブランドOEM販売の推進により66,755千円の増加となりました。また、当社のメガネフレーム部門は、ヨーロッパの海外高級ブランド品の受注増加及びNS Murai Inc.向の売上開始により20,603千円の増加となりました。

これによりセグメント損失は、15,689千円となりました。赤字幅は前年同四半期と比較して約3分の1に縮小しました。

(その他事業)

その他事業の売上高は81,503千円となり、前年同四半期比13,263千円減少しました。これは主に、NISSEY VIETNAM CO.,LTD.における釣具用部品の売上減少によるものです。

これによりセグメント損失は、3,206千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,511,068千円となり、前連結会計年度末と比べ5,087千円増加しました。このうち、流動資産は、1,661,985千円となり、5,015千円増加しました。これは主に受注高の増加による商品及び製品の増加34,253千円と原材料及び貯蔵品の増加45,682千円、現金及び預金の減少51,565千円などによるものです。固定資産は、849,082千円となり、72千円増加しました。これは主に、有形固定資産の取得による増加28,436千円、固定資産の減価償却による減少27,832千円などによるものです。

負債合計は1,466,811千円となり、37,945千円増加しました。流動負債は1,257,748千円となり、44,606千円増加しました。これは主に受注高の増加による仕入債務の増加70,441千円、1年内償還予定の社債の減少40,000千円などによるものです。固定負債は209,062千円となり、6,661千円減少しました。これは主に、長期借入金の減少6,741千円などによるものです。

純資産は1,044,257千円となり、32,857千円減少しました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少32,144千円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して、48,865千円減少し384,959千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は34,452千円となりました。減価償却費27,832千円の計上、売上高の増加による仕入債務の増加70,441千円などがありました。一方、税金等調整前四半期純損失30,257千円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失46,146千円)の計上、売上高の増加によるたな卸資産の増加75,188千円、(株)ジエンコ等への利息及び遅延損害金の支払23,453千円などがありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は26,936千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出28,436千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は51,379千円となりました。これは主に社債40,000千円の償還、長期借入金の返済17,434千円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成22年5月14日付にて公表致しました業績予想に変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

原価差異の配賦方法

標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（資産除去債務に関する会計基準の適用）

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる、損益への影響は軽微であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	390,259	441,825
受取手形及び売掛金	538,855	525,093
商品及び製品	191,813	157,560
仕掛品	277,618	282,367
原材料及び貯蔵品	218,700	173,017
立替金	20,368	46,893
その他	28,567	35,639
貸倒引当金	4,196	5,425
流動資産合計	1,661,985	1,656,970
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	209,904	211,947
機械装置及び運搬具(純額)	219,069	211,383
工具、器具及び備品(純額)	38,947	41,474
土地	123,614	123,614
建設仮勘定	-	1,823
有形固定資産合計	591,536	590,243
無形固定資産		
借地権	167,234	168,572
その他	13,002	13,803
無形固定資産合計	180,237	182,376
投資その他の資産		
投資有価証券	44,220	47,396
敷金及び保証金	25,349	22,836
その他	33,455	31,711
貸倒引当金	25,716	25,553
投資その他の資産合計	77,308	76,390
固定資産合計	849,082	849,010
資産合計	2,511,068	2,505,980

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	499,720	429,278
短期借入金	583,657	575,322
1年内償還予定の社債	-	40,000
1年内返済予定の長期借入金	33,904	44,532
賞与引当金	24,005	19,357
未払法人税等	4,700	8,815
その他	111,760	95,835
流動負債合計	1,257,748	1,213,141
固定負債		
長期借入金	119,597	126,339
退職給付引当金	87,197	84,735
その他	2,268	4,649
固定負債合計	209,062	215,724
負債合計	1,466,811	1,428,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,565,875	1,565,875
資本剰余金	1,548,980	1,548,980
利益剰余金	2,042,681	2,010,537
自己株式	40,212	40,212
株主資本合計	1,031,961	1,064,106
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,878	2,123
為替換算調整勘定	174	131
評価・換算差額等合計	2,704	1,991
新株予約権	15,000	15,000
純資産合計	1,044,257	1,077,114
負債純資産合計	2,511,068	2,505,980

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	961,772	1,133,319
売上原価	707,175	846,782
売上総利益	254,596	286,537
販売費及び一般管理費	290,655	299,253
営業損失()	36,058	12,716
営業外収益		
受取利息	63	154
受取配当金	1,305	1,364
助成金収入	5,214	-
その他	2,761	4,757
営業外収益合計	9,345	6,275
営業外費用		
支払利息	3,025	7,407
為替差損	9,796	12,043
その他	672	4,512
営業外費用合計	13,494	23,964
経常損失()	40,207	30,404
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,028	145
前期損益修正益	3,121	-
その他	-	1
特別利益合計	8,150	147
特別損失		
遅延損害金	14,035	-
固定資産除却損	53	-
特別損失合計	14,089	-
税金等調整前四半期純損失()	46,146	30,257
法人税、住民税及び事業税	1,943	1,887
法人税等合計	1,943	1,887
四半期純損失()	48,090	32,144

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	46,146	30,257
減価償却費	28,372	27,832
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,637	1,066
退職給付引当金の増減額(は減少)	795	2,461
受取利息及び受取配当金	1,369	1,518
遅延損害金	14,035	-
支払利息	3,025	7,407
為替差損益(は益)	1,143	5,066
売上債権の増減額(は増加)	59,789	13,761
たな卸資産の増減額(は増加)	49,923	75,188
立替金の増減額(は増加)	-	26,525
敷金及び保証金の増減額(は増加)	103,792	2,512
仕入債務の増減額(は減少)	113,015	70,441
賞与引当金の増減額(は減少)	15,549	4,647
その他	4,229	40,089
小計	103,742	60,168
利息及び配当金の受取額	3,170	1,741
利息の支払額	2,141	21,163
遅延損害金の支払額	-	2,289
法人税等の支払額	4,220	4,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,550	34,452
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	300	900
定期預金の払戻による収入	-	3,600
有形固定資産の取得による支出	18,423	28,436
投資有価証券の取得による支出	1,198	1,202
貸付金の回収による収入	3,875	-
その他	-	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,046	26,936
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	27,558	8,335
長期借入れによる収入	100,000	-
長期借入金の返済による支出	22,509	17,434
社債の償還による支出	40,000	40,000
設備関係割賦債務の返済による支出	2,183	2,280
自己株式の取得による支出	43	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,704	51,379
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,143	5,002
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	93,352	48,865
現金及び現金同等物の期首残高	356,552	433,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	449,905	384,959

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：千円)

	時計バンド 事業	メガネ フレーム事業	その他事業	計	消去 又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	554,580	312,425	94,766	961,772		961,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	554,580	312,425	94,766	961,772		961,772
営業利益又は営業損失()	2,515	34,767	1,223	36,058		36,058

(注) 1 事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、下記の事業区分によっております。

2 各事業区分の主な製品

(1) 時計バンド事業.....チタニウム製時計バンド、セラミックス製時計バンド及び時計バンド用部品

(2) メガネフレーム事業.....チタニウム製フレーム、チタニウムと異素材のコンポジットフレーム及びサングラス

(3) その他事業.....携帯電話機用部品、釣具用部品、電子ロック、電子機器用部品、イオンプレーティング・アルマイトによる表面処理加工

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位：千円)

	国内	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	581,093	380,678	961,772		961,772
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	26,552	189,560	216,113	(216,113)	
計	607,647	570,239	1,177,885	(216,113)	961,772
営業利益又は営業損失()	66,912	30,977	35,934	124	36,058

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

アジア.....中国・ベトナム

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:千円)

	ヨーロッパ	アジア	計
海外売上高	203,930	592,931	796,861
連結売上高			961,772
連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	21.2	61.7	82.9

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

ヨーロッパ.....スイス・ドイツ・フランス・スペイン

アジア.....中国・韓国・タイ

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品別の営業部門を置き、各営業部門は取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は営業部門を基礎とした製品別セグメントから構成されており、「時計バンド事業」、「メガネフレーム事業」及び「その他事業」の3つを報告セグメントとしております。

「時計バンド事業」は、チタニウム及びセラミック製時計バンドの製造販売をしております。「メガネフレーム事業」は、チタニウム及びチタニウムと異素材のコンポジットメガネフレーム、サングラスの製造販売をしております。「その他事業」は、釣具用部品、電子ロック等の製造販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：千円)

	時計バンド事業	メガネ フレーム事業	その他事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	652,032	399,783	81,503	1,133,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高				
計	652,032	399,783	81,503	1,133,319
セグメント損失	10,866	15,689	3,206	29,762

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	29,762
減損固定資産の減価償却費の調整	8,325
その他の調整額	8,720
四半期連結損益計算書の営業損失	12,716

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	366,815	+9.6
メガネフレーム事業	101,080	+84.2
その他事業	81,233	+7.2
合計	549,130	+18.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 金額は、販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	687,485	+32.1	1,034,443	+8.5
メガネフレーム事業	453,357	+61.8	442,168	+155.9
その他事業	122,221	+16.2	95,198	+90.6
合計	1,263,064	+39.4	1,571,809	+33.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
時計バンド事業	652,032	+17.6
メガネフレーム事業	399,783	+28.0
その他事業	81,503	14.0
合計	1,133,319	+17.8

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
RADO WATCH CO.,LTD.	147,121	15.3	51,800	4.6
カシオ計算機株式会社	70,827	7.4	89,247	7.9
CASIO COMPUTER(HK) LTD.	171,249	17.8	324,586	28.6
CASIO ELECTRONICS (SHENZHEN) CO.,LTD.	50,291	5.2	78,679	6.9
CASIO(THAILAND) CO.,LTD	82,380	8.6	79,652	7.0

- 3 上記の金額には、消費税は含まれておりません。